



# わたしのまちの健康プロフィール

【大分県中部保健所・由布保健部】

作成日：平成28年4月

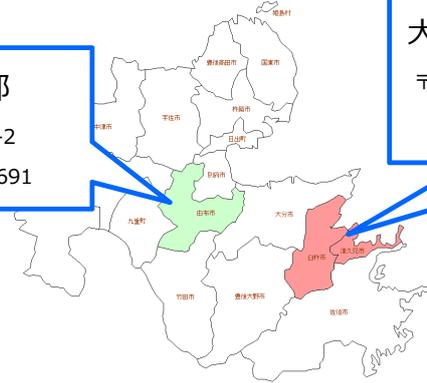
## 1 管内の概要

### 大分県中部保健所由布保健部

〒879-5421 由布市庄内町柿原337-2  
TEL 097-582-0660/FAX 097-582-0691

### 大分県中部保健所

〒875-0041 臼杵市大字臼杵字洲崎72-34  
TEL 0972-62-9171/FAX 0972-62-9173



平成27年10月1日現在

	人 口 (人)			世帯数	高齢化率	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
	総 数	男	女				
大 分 県	1,164,703	551,228	613,475	495,644	30.4	6,340.61	183.7
管 内	90,429	42,512	47,917	36,164	36.2	689.99	131.1
臼 杵 市	38,726	18,234	20,492	15,447	37.9	291.20	133.0
津 久 見 市	18,016	8,367	9,649	7,714	39.7	79.47	226.7
由 布 市	33,687	15,911	17,776	13,003	32.4	319.32	105.5

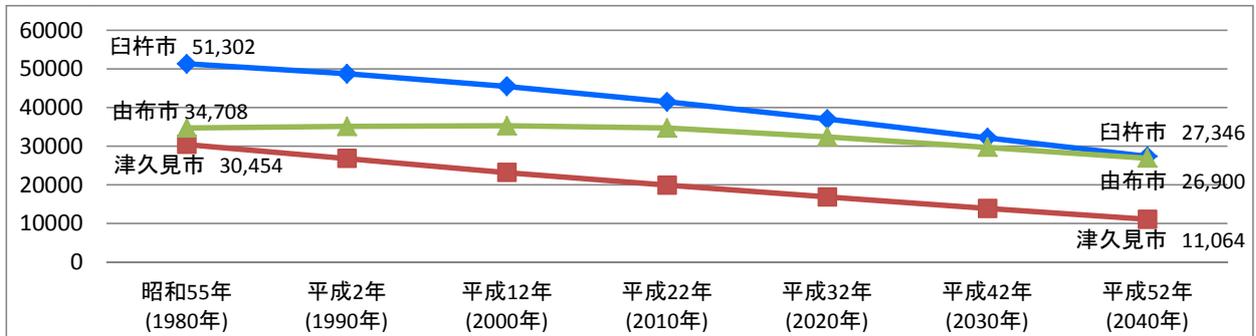
注：管内人口の総数には、年齢不詳の者を含む。高齢化率の分母は、年齢不詳を除く。

面積、人口密度は平成26年10月1日現在のもの

資料：人口・世帯数は県統計調査課「大分県の人口推計」、面積は国土地理院「平成26年全国都道府県市区町村別面積調」

## (1) 人口

### ① 人口の推移

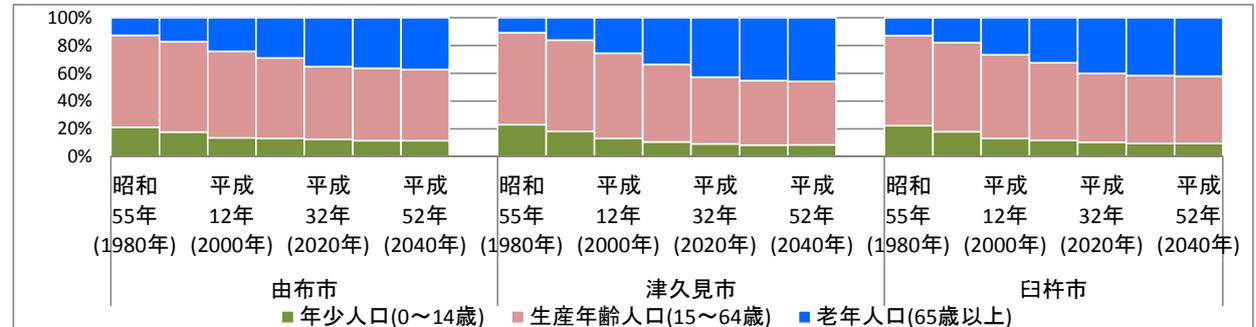


注：昭和55年～平成12年の「臼杵市」の人口は、「旧臼杵市」と「旧野津町」を合算したものの

資料：昭和55年～平成22年は、総務省統計局「国勢調査報告」

平成32年～平成52年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

### ② 年齢3区分別人口割合の推移



注：昭和55年～平成12年の「臼杵市」の人口割合は、「旧臼杵市」と「旧野津町」を合算したものの

昭和55年～平成22年の人口割合は、分母から年齢不詳を除いて算出

資料：昭和55年～平成22年は、総務省統計局「国勢調査報告」

平成32年～平成52年は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

人口は、年々減少すると見込まれています。年齢3区分の人口割合は、3市とも、年少（子ども）人口割合、生産年齢（働く世代）人口割合は低下し、老年（高齢者）人口割合が上昇します。2040年（平成52年）には、臼杵市、津久見市の老年人口割合（高齢化率）が40%を超える見込みです。

## 2 人口動態

### (1) 出生、死亡の状況

平成26年

	出生					死亡	
	実数	率 (人口千対)	合計特殊 出生率	2500g未満 (再掲)	出生数に対す る2500g未満 の出生割合	実数	率 (人口千対)
大分県	9,279	8.0	1.56	798	8.6	14,065	12.1
管内	577	6.2	1.55	52	9.0	1,347	14.6
臼杵市	229	5.8	1.53	17	7.4	598	15.3
津久見市	78	4.3	1.49	6	7.7	302	16.5
由布市	270	8.0	1.62	29	10.7	447	13.3

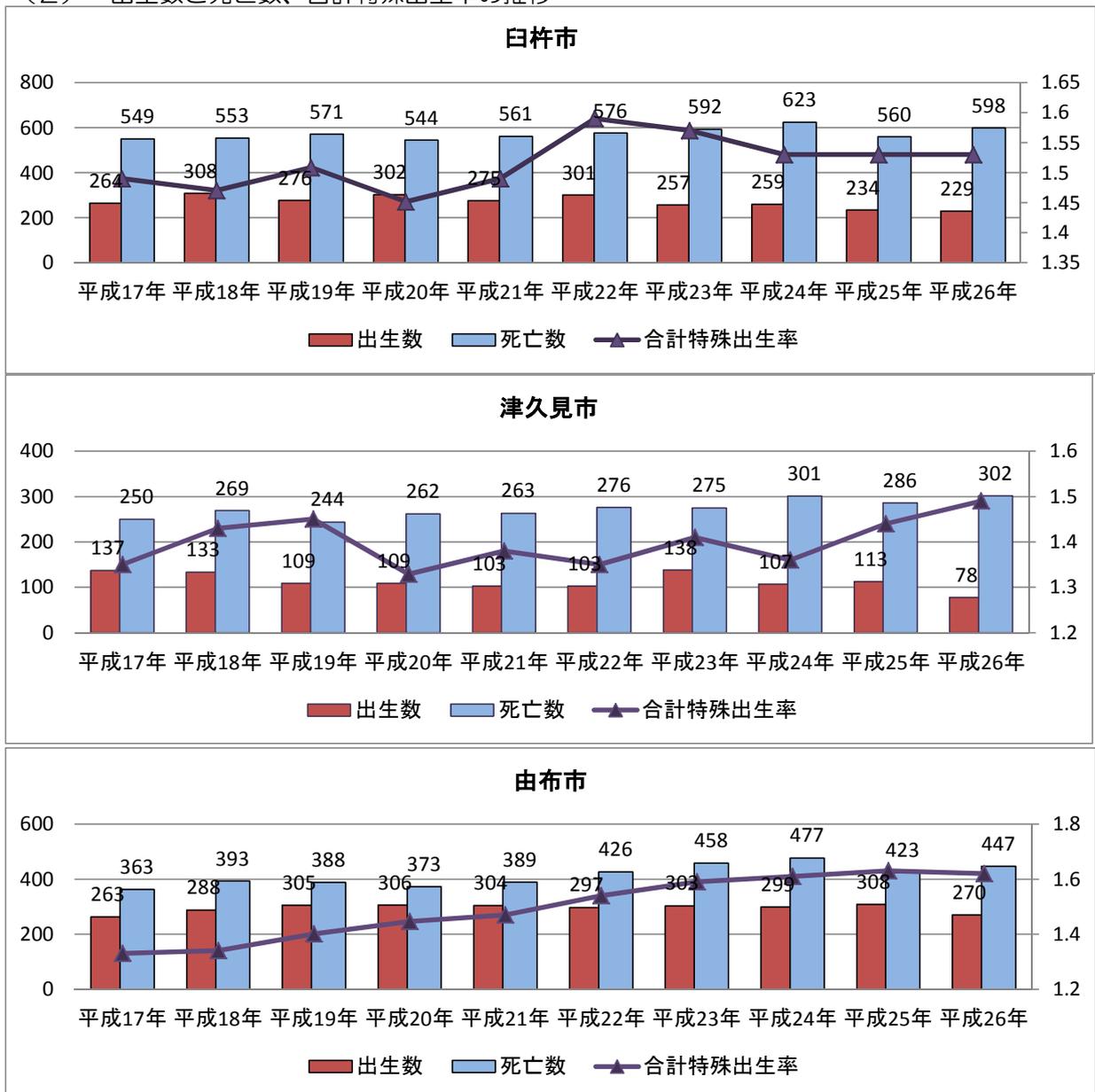
資料：厚生労働省「人口動態統計」

管内及び各市の合計特殊出生率は、県福祉保健企画課調べ（平成22～26年の平均値）



「合計特殊出生率」とは、15～49歳の女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に産む子どもの数です。人口を維持するためには、2.07以上が必要です。市の合計特殊出生率は、当該年を含む前5年間の平均値です。推移は下のグラフをご覧ください。

### (2) 出生数と死亡数、合計特殊出生率の推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」 合計特殊出生率は県福祉保健企画課調べ（当該年を含む前5年間の平均値）

合計特殊出生率は、平成17年よりも平成26年の方が上昇しているように見えます。しかし、出生数を見ると、年によって変動はありますが、大きく増えている訳ではありません。

よって、実際には、合計特殊出生率を算出する際の分母となる15～49歳の女子の人口が減少している影響を受けて、合計特殊出生率が上昇しているように見えているだけ、と言えます。

(3) 主要死因別死亡率（人口10万対）

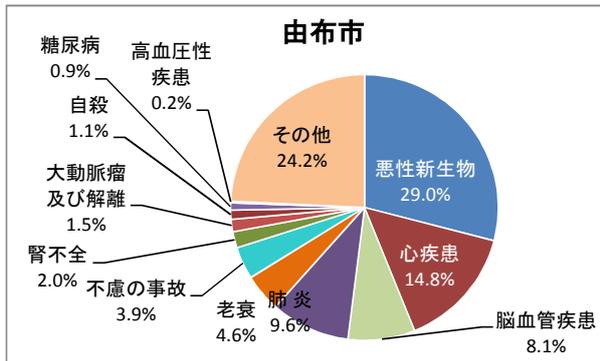
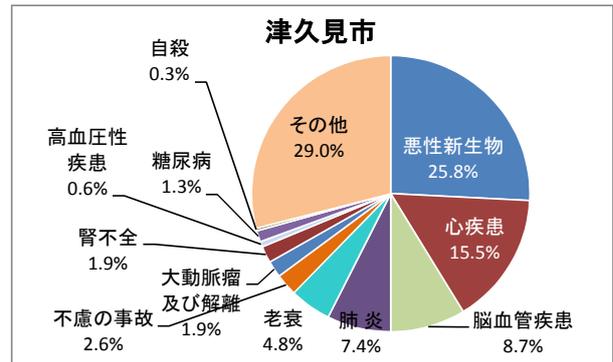
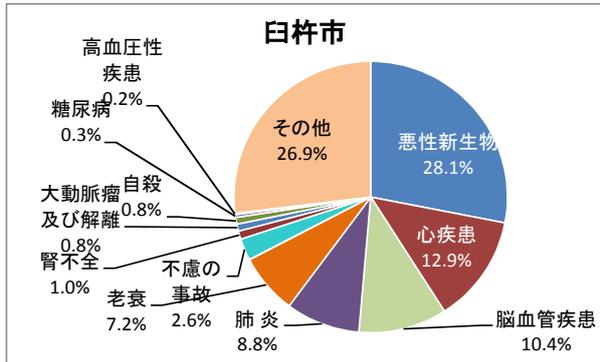
平成26年

	全国	大分県	管内	臼杵市	津久見市	由布市
総数	1009.1	1209.4	1477.3	1527.1	1648.6	1326.4
悪性新生物	290.3	329.8	422.3	439.2	436.7	394.7
心疾患	156.5	176.8	213.9	201.7	262.0	201.8
脳血管疾患	94.1	110.2	140.4	163.4	147.4	109.8
肺炎	97.8	124.0	132.7	137.9	125.6	130.6
老衰	55.5	63.0	87.7	112.4	81.9	62.3
不慮の事故	31.5	41.6	46.1	40.9	43.7	53.4
自殺	20.7	17.6	12.1	12.8	5.5	14.8
腎不全	20.0	24.3	23.0	15.3	32.8	26.7
大動脈瘤及び解離	12.8	13.4	19.7	12.8	32.8	20.8
糖尿病	11.0	11.2	11.0	5.1	21.8	11.9
高血圧性疾患	5.7	7.4	4.4	2.6	10.9	3.0

資料：厚生労働省「人口動態統計」、大分県「公衆衛生年鑑」

表の色が濃い部分ほど、死亡率が高いことを示しています（太枠内の「総数」を除く）。

(4) 主要死因別死亡割合（平成26年）

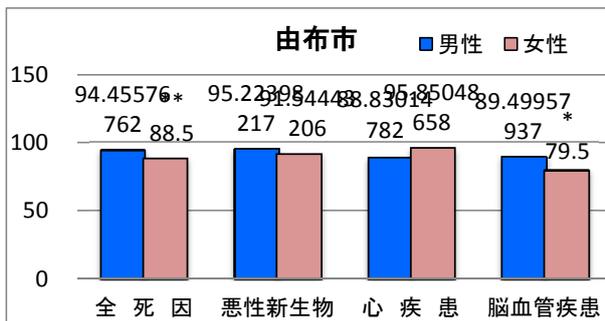
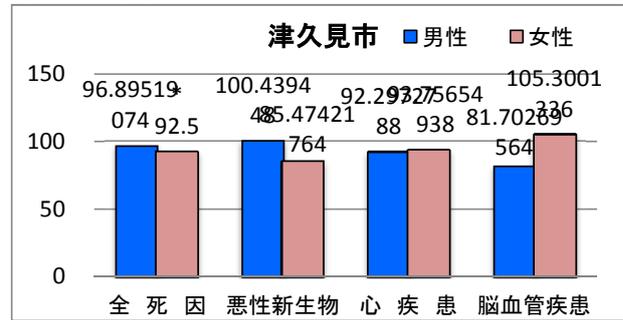
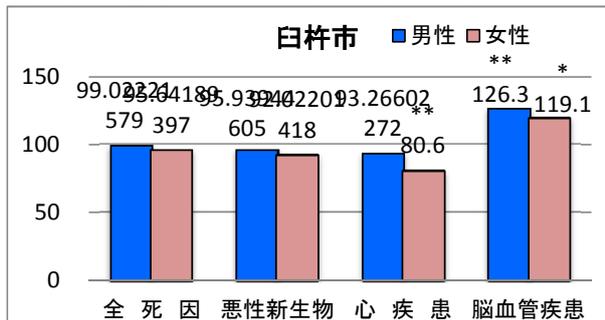


資料：厚生労働省「人口動態統計」、大分県「公衆衛生年鑑」

管内の各市では、悪性新生物による死亡率が第1位、心疾患が第2位、第3位が脳血管疾患です。  
地域によって人口や年齢構成に違いがありますので、各市を比較するには、次の標準化死亡（SMR）を参照してください。



(5) 標準化死亡比（SMR）（平成22～26年の平均値）



資料：大分県健康指標計算システム（福祉保健企画課）

標準化死亡比（SMR）とは、各地域の年齢階級別人口と全国の年齢階級別死亡率により算出された各地域の期待死亡数と、その地域の実際の死亡数との比を示します。  
主に、小地域の比較に用いられ、全国を100（基準値）として、100より大きい場合、その地域の死亡状況は全国より悪く、100より小さい場合は全国より良いという意味です。  
\*は5%の危険率、\*\*は1%の危険率で、有意に高い・低いことを示します。

### 3 お達者年齢（平成22～26年の平均値 <大分県の平均寿命を除く>）



『平均寿命』は、0歳の子どもが何年生きられるかを示すものであり、都道府県の数値は国が5年毎に公表しています。市町村の平均寿命も5年毎に国が算出していますが、大分県では独自に算出（※1）し、毎年公表（※2）しています。

『健康寿命』は、健康で過ごせる期間を示したものです。国が算出する「健康寿命」は、国民生活基礎調査の結果を基に、「日常生活に制限のない期間」を算出したもので、全国値と都道府県の値が3年に1回公表されます。

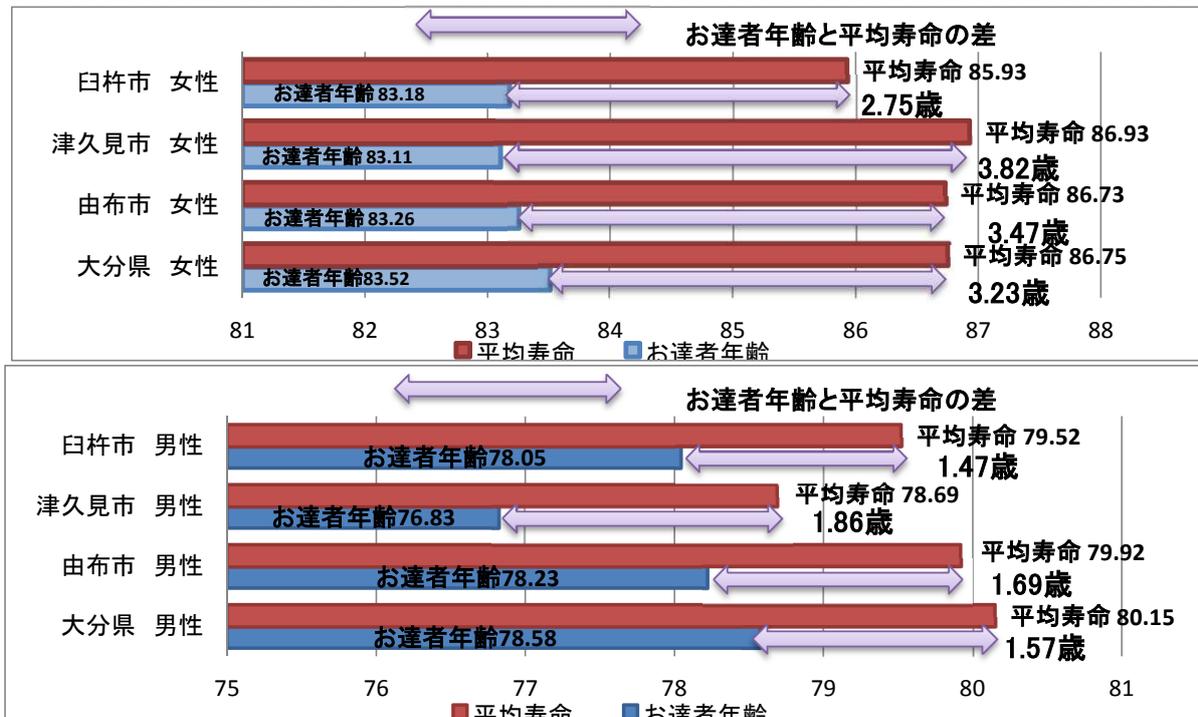
平均寿命と健康寿命の差は、健康ではない期間を意味するので、この期間をなるべく短くすることが必要です。

なお、市町村では人口規模の小さく、国と同様の調査による「健康寿命」の算出は困難なため、類する指標として「お達者年齢」（※3）を大分県が毎年公表（※2）しています。

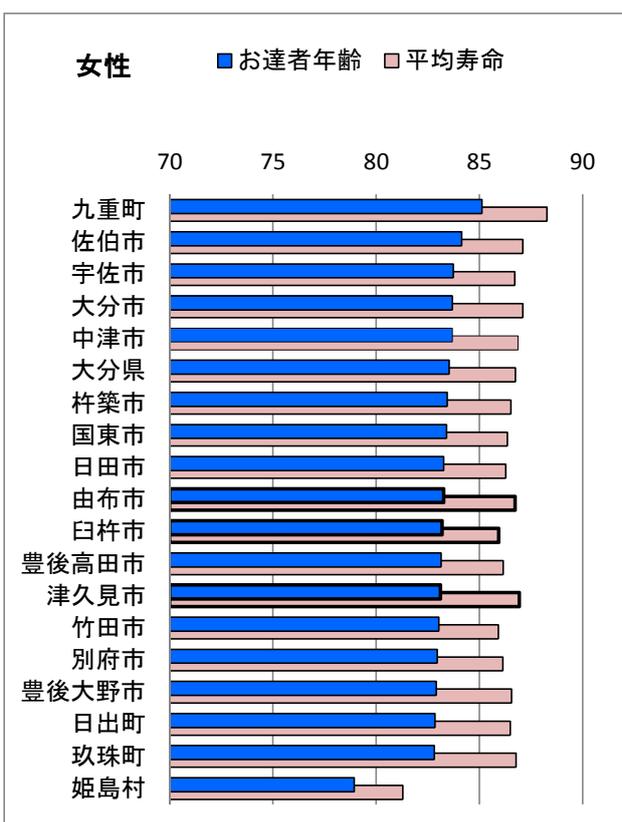
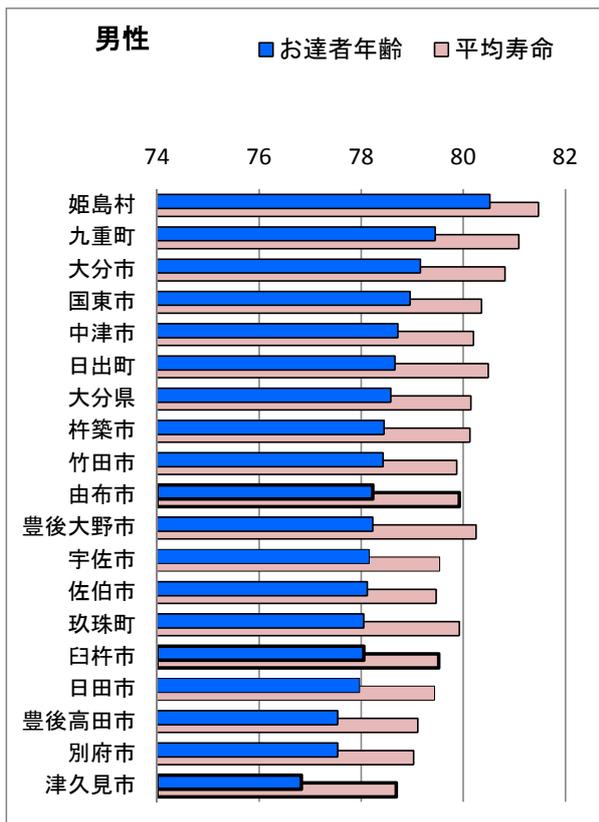
※1 「毎月流動人口調査報告」等から算出

※2 人口規模が小さく単年度では精度が低くなるため、5年間平均値を使用

※3 「要介護2以上に認定を受けていない方」を健康として定義



健康寿命県内市町村ランキング



資料：大分県の平均寿命は厚生労働省「平成22年度都道府県別生命表」  
その他の値は「大分県健康指標計算システム」（福祉保健企画課）

## 4 大分県中部保健所の取組

中部保健所・由布保健部の特徴的な取組である「アクションカード」について簡単にご紹介します。

### (1)「アクションカード」とは？

アクションカードは、災害時に保健所の職員が、災害時対応マニュアルに定められたそれぞれの業務を実施する際に、何をどのように処理していくかについて、業務毎に具体的に記載したものの。

### (2)アクションカードの構成

アクションカードは、職員が実施する個々の業務ごとに業務内容や手順等を記載した「個別業務カード」と、個々の業務を系別・対応時期別に整理した「業務進行カード」により構成しています。

### (3)「個別業務カード」と「業務進行カード」って、具体的にどんなもの？

(個別業務カード様式)

係名	総務・企画調整係	
時期	初動期（発生直後）	
担当者名		
業務名	4 保健所班の設置	
【業務の概要】		
大分県災害対策本部等運営要綱第40条に基づき〇〇振興局に〇〇振興局災害対策本部が設置されたときに、中部保健所に保健所班を設置する。		
中部保健所の場合の対応		健康管理センターの場合の対応
1 保健所班の構成 班長：所長（本部の副本部長） 副班長： 班員：中部保健所3名 由布保健部2名 平成26年度名簿7名（別紙8）	1 保健所班の構成 班長： 副班長： 班員：中部保健所3名 由布保健部2名 平成26年度名簿7名	
2 設置場所 中部保健所 ただし、由布保健部の職員は、由布保健部に参集する。	2 設置場所 〇〇センター ただし、由布保健部の職員は、由布保健部に参集する。	
3 保健所班の事務室 所長室及び小会議室	3 保健所班の事務室 2Fの介護予防教室	

#### ①個別業務カード

・「個別業務カード」は、「総務・企画調整係」「保健・医療活動支援係」「衛生・廃棄物係」の3係別に、「初動期」「緊急期」「応急期」の時期に分けて、各職員が実施する業務ごとに、業務の内容や手順等を記載しており、原則として1業務につき1枚のカードを作成しています。

・職員は、自分が所属する係と発災後の時期に応じて、「個別業務カード」を参照しながら必要な業務を実施していくこととなります。



(業務進行管理カード 1)

係名	総務・企画調整係		担当者名	対応開始時期	対応終了時期	備考
番号	業務名					
初	1	庁舎設備の損壊状態の確認・記録				保健所庁舎が使用不能の場合は〇〇センターを使用
	2	職員名簿の作成、総括責任者の決定				
	3	本務場所以外の職場に参集した職員の安否確認				
	4	保健所班の設置				
	5	参集途上情報報告書の作成、報告				
	6	地区災害対策本部への参加				
動	7	職員参集・安否確認システムによる安否確認報告				
期						

#### ②業務進行管理カード

・「業務進行管理カード」は各係の総括（係長）が、係内の個別業務の担当者や進捗状況を整理・把握するために使用するものです。



中部保健所では、災害が起きた際に職員がスムーズに動けるように日頃から準備をしています。今後も、訓練等を継続し、災害時に備えた準備を強化していきたいと思ひます。